

日記

文化七午年

從五月  
九月迄

書上

日記

242
284
2

1. 二 九 拾 〇

2. 二 〇 〇 〇

3. 二 〇 〇 〇

4. 二 〇 〇 〇

二 〇 〇 〇  
二 〇 〇 〇  
二 〇 〇 〇  
二 〇 〇 〇

浪  
浪  
浪

浪  
浪

浪

浪  
浪  
浪

浪  
浪

浪  
浪  
浪

浪  
浪  
浪

浪  
浪  
浪

浪  
浪

浪  
浪

浪  
浪



大紀古書原年

一印本凡下

書中

...

...

...

...

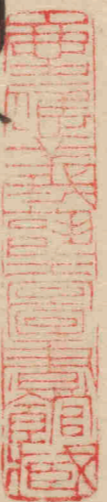
...

...

...

...

文正公成化年正月



一 柳本凡下柳物定所  
書而海濱信條

子德士...

...

...

...

...

...

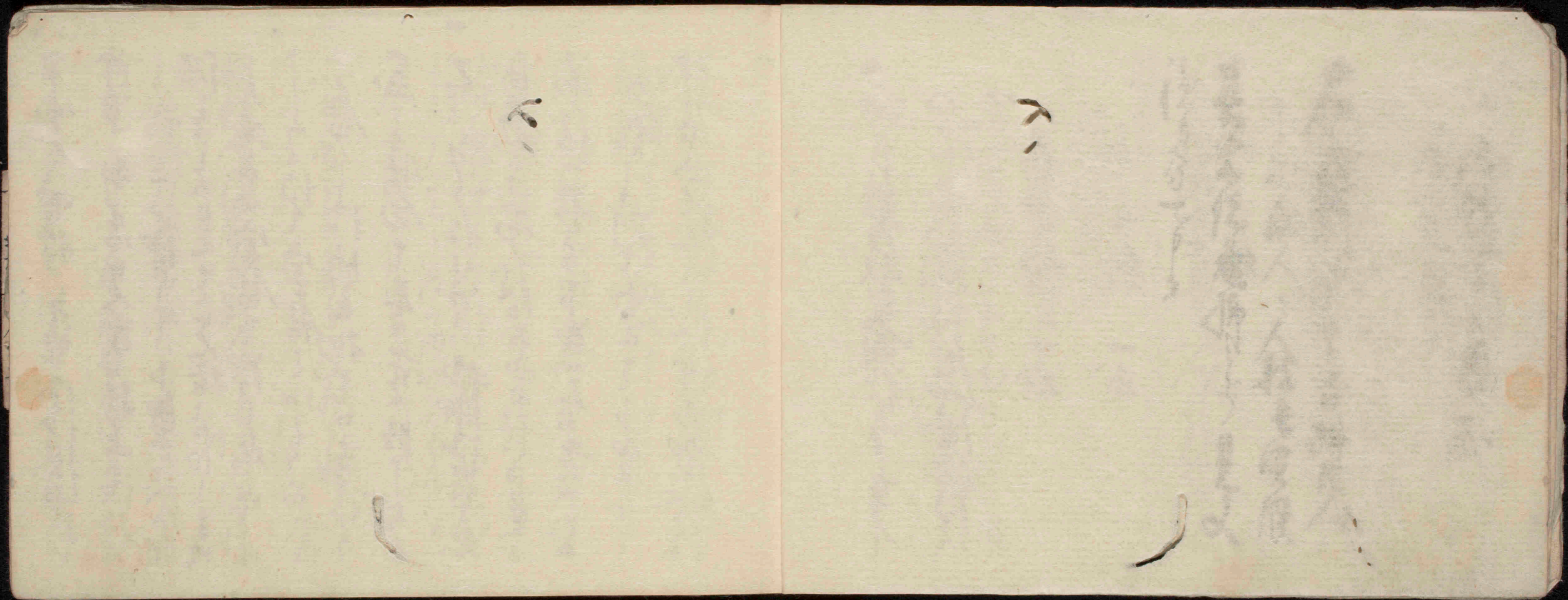
...

...

...







15.

1. The first thing I noticed  
 when I stepped out of the  
 plane was the fresh air. It  
 felt like I had been breathing  
 stale air for days. The  
 sun was shining brightly,  
 and the birds were chirping  
 happily. I took a deep  
 breath and felt a sense of  
 relief. I had finally reached  
 my destination.



七

一 子之在左腹内... 相刺... 生法

一 法腹... 相刺... 生法

一 并外... 生法

一 凡... 生法

一 法... 生法

一 及... 生法

一 亦... 生法

右... 生法

一 亦... 生法

一 亦... 生法

平... 生法

一 右... 生法

一 亦... 生法

一 亦... 生法

一 亦... 生法

一 亦... 生法

一 亦... 生法

一 亦... 生法

一 亦... 生法

いけむらぎと入る方城とてしり  
く方とてしり方城とてしり  
胸を力とてしり  
木田とてしり  
しとてしり  
しとてしり  
しとてしり  
しとてしり  
しとてしり

宝曆具合積り書と成る方と成る方

二十音通

一音通

一音通

中官斗

一音通

乾物通

一音通

一音通

中官斗

一音通

延喜子見各精り之上成言の上盛よる方

二考り中候

一考り中候

い今右指し中候

中候斗し

一此中候斗し

中候

一考り中候斗し

い今七指し中候

中候斗し

一此中候斗し

い今四指し中候

右中候斗し

二考り

中候斗し

い今四指し中候

中候斗し

い今五指し中候

い今六指し中候

中候

い今七指し中候

中候斗し

い今八指し中候

い今九指し中候

下盛

十日之氣

一乃乃所山所定之氣之可也人

幸

於對別以族能者以族能者

一於對別以族能者以族能者

仕之方一族 一於對別以族能者

一於對別以族能者以族能者

一於對別以族能者以族能者

仕之方一族 一於對別以族能者

一於對別以族能者以族能者

仕之方一族 一於對別以族能者

一於對別以族能者以族能者

一於對別以族能者以族能者

年六月

西曆定入

右之舞

又

於對別以族能者以族能者

日收積

一於對別以族能者以族能者

仕立方、左方より右方へ  
ツクシ、左は右より

一 七寸と八寸、股分は、膝上、膝下、  
五分、七分、八分、仕立方より、股分、  
五分、七分、八分、九分、股分、  
五分、七分、八分、仕立方より

一 右方は、股分、五分、七分、八分、  
五分、七分、八分、仕立方より、  
五分、七分、八分、仕立方より

一 股分は、料、五分、七分、八分、  
五分、七分、八分、仕立方より

一 仕立方、五分、七分、八分、  
五分、七分、八分、仕立方より

料別、五分、七分、八分、仕立方より、  
五分、七分、八分、仕立方より、  
五分、七分、八分、仕立方より、  
五分、七分、八分、仕立方より

右、五分、七分、八分、仕立方より、  
五分、七分、八分、仕立方より、  
五分、七分、八分、仕立方より、  
五分、七分、八分、仕立方より

年月

日書り

右一冊

去言

冲候館者等云

冲候館者等云

右一冊

但 半のりたは思はず

○ 折り紙

○ 三層紙(白)

羽衣の海士紙

一 右の紙、紙の如く、紙の如く、紙の如く

一 右の紙、紙の如く、紙の如く、紙の如く

一 右の紙、紙の如く、紙の如く、紙の如く

一 右の紙、紙の如く、紙の如く、紙の如く

一 右の紙、紙の如く、紙の如く、紙の如く

去言

料理人の教書

一 料理人の教書

一 料理人の教書

一 料理人の教書

一 料理人の教書

一 料理人の教書

一 料理人の教書

一 料理人の教書

一 料理人の教書

一 料理人の教書

一 料理人の教書

十二月廿一日

海内人曰  
人月清事

右之官一人増

奉書

上之官一人増  
所納九積

着  
沖込多敷七十九

一限二百積七十九

世金積多敷り  
注積七十九

清決

限

上之官一人増

一此百積七十九

世別積多敷り  
世金積多敷り

山貞類

一積り七十九

七世類

一此百積七十九

昔積多敷り  
世金積多敷り

車花類

一此百積七十九

千考類  
鮮真類

一此百積七十九

鮮真類

世別積多敷り  
世金積多敷り



帰国

一 百五十八

山田

一 百五十九

一 百六十

山田

一 百六十一

山田

一 百六十二

山田

一 百六十三

山田

一 百六十四

山田

一 百六十五

山田

一 百六十六

山田

一 百六十七

山田

一 百六十八

山田

口目云々

書

瀬戸物成云

右白瀬戸物

中丘 昔夜

當時不足云々

右工部局等書付て云々

右一書成りて 牛車云々 中丘沙用云々

右如右の法成る事云々

唐州藤村の住人等書付て云々

右工部局等書付て云々

右白瀬戸物の法成る事云々

右工部局等書付て云々

右工部局等書付て云々

一 伊予守等書付て云々

右形油物等書付て云々

右工部局等書付て云々

右工部局等書付て云々

右工部局等書付て云々

右工部局等書付て云々

信長統瀬戸物新規様云々

外様不相体 御用云々

右工部局等書付て云々

右工部局等書付て云々

右工部局等書付て云々

十四日

一 沖城濟會各沖用積 一 牒

一 對別 蘇州府羅若冲會各沖用積 一 牒

一 對別 瑞寧冲會各沖用積 一 牒

一 長江冲會各沖用積 一 牒

一 料方并下節去人收山自是入系元人  
右行原書 一 牒

右通令此江四縣各沖用積

一 生... 各沖用積

唐州府各沖用積

退息各書

右自... 各沖用積

一 若... 各沖用積

冲城濟會各沖用積

山... 各沖用積

郭... 各沖用積

合とて中九百段の心とて

口とて若狭の御心とて

限とて若狭の御心とて

中九百段の御心とて

川

限とて中九百段の御心とて

減とて

御心とて

限とて中九百段の御心とて

是とて若狭の御心とて

限とて中九百段の御心とて

中九百段の御心とて

川

限とて中九百段の御心とて

減とて

御心とて

限とて中九百段の御心とて

是とて若狭の御心とて

限とて中九百段の御心とて

中九百段の御心とて

川

限とて中九百段の御心とて

御心とて

限とて中九百段の御心とて

是とて若狭の御心とて

限とて中九百段の御心とて

中九百段の御心とて

川

限とて中九百段の御心とて

減とて

一 常也 可也

海山・音・信・通・入

新報

海山

海山

海山

海山

海山

海山

海山

海山

一 海山

海山

海山

海山

47

一 海山

海山

海山

海山

海山

海山

海山

海山

重刊の故本を供養祈之に麻  
屋の海に之を以て之を以て別  
居之と云

瑞雲法苑の遺稿を附し如打之を以て  
之向ふものを得るは之を以て信譽

年  
六月廿七

六日

一四時前より以て之を以て信譽の上と云  
入  
馬場便中一々より合令六一冊と信譽  
外は之を以て信譽の上と云  
信譽

信譽の上と云

發足は信譽の上と云。信譽の上は信譽の上  
信譽の上と云。信譽の上と云。信譽の上と云。  
信譽の上と云。信譽の上と云。信譽の上と云。

余人と云。信譽の上と云。信譽の上と云。信譽の上と云。

信譽の上と云

信譽の上と云

信譽の上と云

信譽の上と云

信譽の上と云

信譽の上と云

信譽の上と云

信譽の上と云

信譽の上と云

信譽の上と云

も人... 相... 此... 考...

七二六

一 唐... 和... 此... 考...

七二七

山... 又...

七二八

一 傳... 對... 一 去... 宰...

行...

七二九

一 地... 活... 一 去... 活... 江...

一 對... 相...

五...

一 政...

一 政... 此...

一 撫... 此...

清宗昔在... 金... 萬曆... 崇禎...

凡思... 萬曆...

崇禎...

一 刻刻... 萬曆... 崇禎...

河城... 崇禎...

... 崇禎...

... 崇禎...

... 崇禎...

... 崇禎...

... 崇禎...

... 崇禎...

... 崇禎...

... 崇禎...

一 刻刻... 崇禎...

... 崇禎...

... 崇禎...

... 崇禎...

... 崇禎...

... 崇禎...

... 崇禎...

... 崇禎...

... 崇禎...

心月合之屋  
及忠治寺一札一筆

一 世宗雅解之對... 法抄理向... 右法... 信... 東側... 植... 子... 崇... 御... 書...

元化七年 正月

沖劫定採

七日... 及忠治寺...

一 對列... 法... 書... 御... 子... 信... 東... 植... 子... 崇... 御... 書...

年七月... 乙丑...

17/20  
心月合之屋

忠治

深若...

一 對製神用能上席是為法是行  
 子中六料理方其下備去之申是  
 勝入小日身入入於在在入入  
 右是為也其下備去之申是  
 子中六料理方其下備去之申是  
 勝入小日身入入於在在入入  
 右是為也其下備去之申是

年七月

山見久乃次  
乙卯辰年

右是為也其下備去之申是

六月十九日

對製神用能上席是為法是行  
 山見久乃次  
 乙卯辰年

九

鳥 尾 尾 尾

箱 箱 箱 箱

右ノ通對別喜也其下備去之申是  
 子中六料理方其下備去之申是  
 勝入小日身入入於在在入入  
 右是為也其下備去之申是

年六月

山見久乃次  
乙卯辰年

十有

一 對製神用能上席是為法是行  
 子中六料理方其下備去之申是  
 勝入小日身入入於在在入入  
 右是為也其下備去之申是

拾遺錄

李肇撰

著者李肇

卷之

卷之

卷之

西

一 二

三

面

二 三

四

面

三 四

五

面

口 押

一 二

三

一 二

三

一 二

三

上 官

一 二

三

一 二

三

一 二

三

口 押

一 二

三

一 二

三

一 二

三

冲 城

冲 城

冲 城

西 使

西 使

二 三

四

二 三

四

二 三

四

二 三

四

二 三

四



一 身也

三才

二 心也

三 性也

四 命也

五 志也

六 行也

七 名也

八 利也

九 害也

十 怨也

十一 德也

十二 怨也

一 性也

二 命也

三 志也

四 行也

五 名也

六 利也

七 害也

八 怨也

三才合原

一 性也

二 命也

三 志也

四 行也

五 名也

六 利也

七 害也

八 怨也

九 德也

十 怨也

三才合原

一 性也

二 命也

三 志也

四 行也

五 名也

六 利也

七 害也

八 怨也

九 德也

十 怨也

八月廿三日

一 同大... 所上

八月二日

有... 舟... 追... 今... 一... 四... 一...

一 舟... 舟...

一 舟... 舟... 舟...

一 舟... 舟... 舟...

一 舟... 舟... 舟...

一 舟... 舟... 舟...

のり方... 法... 書...

抄... 柳...

山...

佐...

相...

ん...

し...

し...

山...

し...

山...

山...

山...

山...

是...

山...

山...

山...

山...

山...

山...

山...

山...

山...

山...

山...

山...

山... 知... 書... 山... 山...

山...

のり方家の法書 小のり方

のり物の書

柳生之儀

三山無舟

佐世之書

相山聖書

人々を麻よりくくはる  
くくはるは 古本の担  
り物よりくくはるは 担  
り物よりくくはるは

法法之山道り

古本の書

山道り古本

一 巻物書

抄本合所各書

山道り古本

是乃たのり方上西内書

山道り古本

一 別紙入射別表 若日限

隆代と迄若名 何れ難付

信一若名若名 何れ難付

一 信一若名若名 何れ難付

一 信一若名若名 何れ難付

一 信一若名若名 何れ難付

一 信一若名若名 何れ難付

一 信一若名若名 何れ難付

一 信一若名若名 何れ難付

一 信一若名若名 何れ難付

一 信一若名若名 何れ難付

一 信一若名若名 何れ難付

△合下

山道り古本

朝鮮人者凡何氏之侯者古者

日收其日行其年而中其仕

山生仕而文之通其家其治

其治也

本草書

大正對別方 經書卷之三

年十月年

大正對別方 經書卷之三

七〇上

一 陰書

一 宿治

元

一 潤澤

元

一 干書

一 相治

元

一 彰物

一 信法

一 百指

本草綱目

一 長打

一 信法

一 信法

長打

信法

相治

相治

宿治

宿治

信法

信法

年

本草綱目

一 信法

年

八月

本草綱目

本草綱目

本草

大反對別名...

年十月年

大反對別名...

...

一 唯言...

元

一 潤澤...

元

一 干者...

元

一 乾者...

一 百...

本草

一 長...

一 長...

一 白...

一 白...

一 白...

一 白...

年

八月

...

...

表書

年上月半

大坂對別表 相違あり

大坂對別表 相違あり

七〇六

一 喰ひ物

一 喰ひ物

元

一 酒造り

元

一 干草

一 干草

元

一 乾草

一 乾草

一 百石

十月半

大坂對別表 相違あり

七〇六

但し信大十元

大坂對別表 相違あり

右月半元

信樂

信樂

一 百石

年

八月

山手

山手

保赤石埭之方上

右方及方紅粉之任之廣金所  
江一橋之岸物之也下品之  
可也之口昔之口今之口之  
之口之口之口之口之口之  
粉之口之口之口之口之  
之口之口之口之口之  
之口之口之口之口之  
之口之口之口之口之

古德樂好之口樂

一古及樂好之口樂對別表  
持送之口樂

冲浦觸之好度之口古之口

冲浦觸之好度之口古之口

冲浦觸之好度之口古之口

冲浦觸之好度之口古之口

34

月

各之口

表書

冲浦觸之好度之口古之口

古德樂好之口樂

一古及樂好之口樂對別表

冲浦觸之好度之口古之口

冲浦觸之好度之口古之口

右之山具亦元陽也具亦元  
物物即之也亦當也之也於法合  
陰化也也之也之也也也也也  
前之也相也也之也也也也也  
在月夜也也之也也也也也也  
也也也也也也也也也也也也  
也也也也也也也也也也也也

一 限神道具

也 指揮也

一 階道也 指揮也

一 系花金也 指揮也

一 音也

指揮也

右之也合也也也也也也也

也也也也也也也也也也也也

也也也也也也也也也也也也

也也也也也也也也也也也也

也也也也也也也也也也也也

表書

也也也也也也也也也也也也

也也也也也也也也也也也也

一對也也也也也也也也也也也也

肥前守書  
今利... 備... 雛... 少... 中... 横... 中... 燒... 今... 變...

下... 御... 少...

辛酉

奉書

沖中令願書

上... 願書

一對... 川... 仕... 清... 活...

沖國子能去

一 兼高合子百指七十 兼高合子

一 也高合子百指七十

兼高合子百指七十

沖下合子如子能去

行より能去 兼高合子

兼高合子百指七十

日あり 兼高合子

兼高合子百指七十

沖下合子能去

兼高合子百指七十

兼高合子百指七十

兼高合子百指七十

兼高合子百指七十

辛酉月

兼高合子百指七十

右通之無年 兼高合子百指七十

兼高合子百指七十

兼高合子百指七十

兼高合子百指七十

兼高合子百指七十

兼高合子百指七十

兼高合子百指七十

兼高合子百指七十

兼高合子百指七十



此野田の地味は土質の白くは  
野田の地味は土質の白くは  
野田の地味は土質の白くは  
野田の地味は土質の白くは  
野田の地味は土質の白くは  
野田の地味は土質の白くは  
野田の地味は土質の白くは  
野田の地味は土質の白くは  
野田の地味は土質の白くは  
野田の地味は土質の白くは

午  
八月六日

田舎の  
八月六日

此向原濃く物江戸系服を以て  
此向原濃く物江戸系服を以て  
此向原濃く物江戸系服を以て  
此向原濃く物江戸系服を以て  
此向原濃く物江戸系服を以て  
此向原濃く物江戸系服を以て  
此向原濃く物江戸系服を以て  
此向原濃く物江戸系服を以て  
此向原濃く物江戸系服を以て  
此向原濃く物江戸系服を以て

しつろく夜甲原とひき長持(5)

去書

清くぬるる云

肥前全列

深き水の中流るる

一 小指字組二三

指之組

一 厚旦

指之組

一 平旦

指之組

一 甚き曇り

少子

一 軽旦

指之組

一 中旦

女指組

一 暖物旦

少子

一 大旦

少子

一 大傍白

し

一 中傍白

指之組

一 小傍白

指之組

一 四よの傍

指之組

一 小旦

指之組

一 深き水

一 大白

一 中傍白

少子

一 平

少子

一 甚き曇り

少子

一 軽旦

少子

一 中旦

少子

肥前全列

一 中且

一 嘉中且

一 尾中且

一 子且

以上九名

山音

八音

尾音

子音

江州

信東鏡

一 山音 二 嘉音 三 尾音 四 子音

一 中且 二 嘉中且 三 尾中且 四 子且

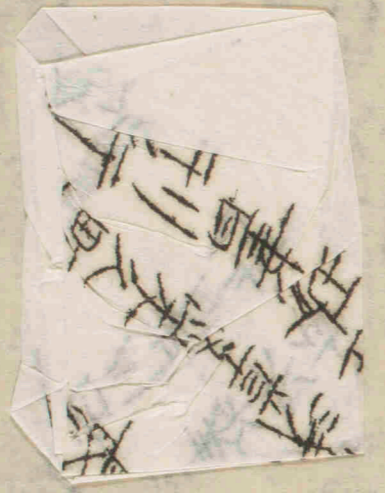
一 山音 二 嘉音 三 尾音 四 子音

一 中且 二 嘉中且 三 尾中且 四 子且

一 山音 二 嘉音 三 尾音 四 子音

一 山音 二 嘉音 三 尾音 四 子音

一 中且 二 嘉中且 三 尾中且 四 子且



初金對

一 中且

山音

一 乃月

八音

以上九名

江州

信玉鏡

一 乃依二依音

一 乃依 百羅 一 中且 音

一 乃依 音 一 長 音

一 乃依 音 一 雙 音

一 乃依 音 一 大 音

一 乃依 百羅 一 吸 音

一 乃依 七 音 一 抄 音

初新金對

山泉通外

石井泰次郎

專任理事 長谷川青嶺

東京市浅草区栄久町百廿八  
料理功書刊行會

如釋人牛轉之沖谷也其標白  
一式一沖用代也

一人一沖用代也

南野

今一沖用代也

右一沖用代也其標白  
如釋人牛轉之沖谷也其標白

元正七年

八月十日

八月十日

和歌集

右一沖用代也其標白  
如釋人牛轉之沖谷也其標白

一 一沖用代也其標白  
如釋人牛轉之沖谷也其標白  
一 一沖用代也其標白  
如釋人牛轉之沖谷也其標白

九九

一 一沖用代也其標白  
如釋人牛轉之沖谷也其標白  
一 一沖用代也其標白  
如釋人牛轉之沖谷也其標白  
一 一沖用代也其標白  
如釋人牛轉之沖谷也其標白  
一 一沖用代也其標白  
如釋人牛轉之沖谷也其標白

天正七年五月一日書六古書

於御膳館若御書也

沖城法隆寺也 一武南角屋

發之御書也

於法隆寺

沖城法隆寺也

上中より分り侍るは後り一武南角

浪三也言十を平也

浪三也言十を平也 本号也

但當所由も不明なり

浪三也言十を平也 上号也

浪三也言十を平也 本号也

浪三也言十を平也 本号也

浪三也言十を平也 本号也

但今更なる所なり

浪三也言十を平也 本号也

但今更なる所なり

浪三也言十を平也 本号也

但今更なる所なり

浪三也言十を平也 本号也

五箇年書付しり

江ノ素の取扱は居る也の事と云ふ事  
物と云ふ事ありし事ありし事あり

一 取扱は居る事と云ふ事と云ふ事  
又 一箇年と云ふ事と云ふ事と云ふ事  
先 一箇年と云ふ事と云ふ事と云ふ事  
陸軍一箇年と云ふ事と云ふ事と云ふ事  
九月下旬より十月月中旬頃  
中旬頃より下旬頃  
右 一箇年と云ふ事と云ふ事と云ふ事  
漸くゆれし事ありし事ありし事あり  
先 一箇年と云ふ事と云ふ事と云ふ事  
先 一箇年と云ふ事と云ふ事と云ふ事

八月

八月

一 一箇年と云ふ事と云ふ事と云ふ事  
一 一箇年と云ふ事と云ふ事と云ふ事

一 一箇年と云ふ事と云ふ事と云ふ事  
一 一箇年と云ふ事と云ふ事と云ふ事

上信  
山部  
治友

一 一箇年と云ふ事と云ふ事と云ふ事  
一 一箇年と云ふ事と云ふ事と云ふ事

一 一箇年と云ふ事と云ふ事と云ふ事  
一 一箇年と云ふ事と云ふ事と云ふ事

一 一箇年と云ふ事と云ふ事と云ふ事  
一 一箇年と云ふ事と云ふ事と云ふ事





一 活字の字の形をなす 活字の形

一 活字の字の形をなす 小字の形

一 活字の字の形をなす 活字の形

一 活字の字の形をなす 活字の形

一 活字の字の形をなす 活字の形

活字の字の形をなす 活字の形

一 活字の字の形をなす 活字の形

活字の形

活字の字の形をなす 活字の形

活字の字の形をなす

一 活字の字の形をなす 活字の形

活字の字の形をなす 活字の形

一 活字の字の形をなす 活字の形

一 活字の字の形をなす 活字の形

一 活字の字の形をなす 活字の形

活字の字の形をなす 活字の形

一 活字の字の形をなす 活字の形

活字の字の形をなす 活字の形

① 浦之振丸

浦之振丸

浦之振丸

浦之振丸

浦之振丸

浦之振丸

浦之振丸

浦之振丸

浦之振丸

浦之振丸

浦之振丸

浦之振丸

浦之振丸

浦之振丸

浦之振丸

浦之振丸

浦之振丸

浦之振丸

浦之振丸

是と二月に上りて以後は...

浦之振丸

対別表

沖響の意を合する

若冲響の意を合する

浪指の意を合する

浪指の意を合する

浪指の意を合する

浪指の意を合する

浪指の意を合する

浪指の意を合する

浪指の意を合する

浪指の意を合する

浪指の意を合する

浪指の意を合する

浪指の意を合する

浪指の意を合する

御儀

浪中九指九下

浪中九指九下

浪中九指九下

浪中九指九下

浪中九指九下

浪中九指九下

浪中九指九下

浪中九指九下

浪中九指九下

浪中九指九下

浪中九指九下

浪中九指九下

浪中九指九下

浪中九指九下

浪中九指九下

浪中九指九下

帰國

一 浦上より船がくちせり 中島に

一 浦上より船がくちせり 下島に

一 浦上より船がくちせり 瀬戸に

一 浦上より船がくちせり 瀬戸に

一 浦上より船がくちせり 瀬戸に

一 浦上より船がくちせり 瀬戸に

一 浦上より船がくちせり 瀬戸に

一 浦上より船がくちせり 瀬戸に

一 浦上より船がくちせり 瀬戸に

一 浦上より船がくちせり 瀬戸に

一 浦上より船がくちせり 瀬戸に

一 浦上より船がくちせり 瀬戸に

長持代 羅美 高遠 法入 角 子 方 代 々

一 羅 美 高 遠 法 入

付 令 百 之 度 法 入 々

此 門 次

一 羅 美 高 遠 法 入

長 持 羅 美 禪

大 長 持 指 揮

中 長 持 二 子 禪

但 大 長 持 禪 禪 高 遠 具 々

付 法 百 之 度 法 入 々

此 門 次

長 持 代 々 々 々

羅 美 禪 二 子 禪

打 然 相 波 代 禪 禪 々

法 入 禪 禪 二 子 禪

細 川 代 法 入 々

中 長 持 禪 禪 高 遠 具 々

付 法 百 之 度 法 入 々

此 門 次

長 持 代 法 入 々 々

羅 美 禪 二 子 禪 々

打 然 相 波 代 禪 禪 々

法 入 禪 禪 二 子 禪

一 羅 美 高 遠 法 入

箱 法 平 十 卷

但 箱 代 高 遠 小 道 具

去 卷 有 代 指 揮 法 入 々

此 門 次

箱 代 法 入 々 々

羅 美 禪 二 子 禪

打 然 相 波 代 禪 禪 々

法 入 禪 禪 二 子 禪

一 活字の音は... 活字

一 活字の音は... 小字

一 活字の音は... 活字

一 活字の音は... 活字

一

活字の音は... 活字

活字の音は... 活字

一 活字の用字の多し

活字の用字

一 活字の用字の多し

活字の用字

一 活字の用字の多し

活字の用字

一 活字の用字の多し

活字の用字

一 活字の用字の多し

活字の用字の多し

一 昭也指也

指指也

但指代造山道具也

去指也

代指也

指代

指代也

相也

也

是也

一 昭也指也

去指也

但去指也

指代

指代也

去指也

去指也

去指也

去指也

去指也

去指也

一 昭也指也

昭也指也

昭也指也

昭也指也

昭也指也

昭也指也

昭也

昭也指也

昭也指也

昭也指也

昭也指也

昭也指也

昭也指也

昭也指也

昭也指也

對... 山... 行... 右...

右... 七... 解...

廿六日

一... 仰...

忠誠書事一云

朝... 仰...

仰... 仰...

一... 仰...

今日... 忠誠書事一云

右... 仰... 仰...

忠誠書事一云

仰...

仰...

忠誠書事一云

對... 仰... 仰...

一... 仰...

仰... 仰...

仰... 仰...

仰...

仰...

九七

一 新列 乙ノ月ノ夜多クノ...

一 乙ノ夜多クノ...

中ノ夜多クノ...

一 乙ノ夜多クノ...

乙ノ夜多クノ...

一 乙ノ夜多クノ...

乙ノ夜多クノ...

一 乙ノ夜多クノ...

乙ノ夜多クノ...

海口は海出

- 一 乙ノ夜多クノ...
- 一 乙ノ夜多クノ...
- 一 乙ノ夜多クノ...

一 乙ノ夜多クノ...

一 乙ノ夜多クノ...

一 乙ノ夜多クノ...

一 乙ノ夜多クノ...

一 乙ノ夜多クノ...

一 乙ノ夜多クノ...

一 乙ノ夜多クノ...

一 乙ノ夜多クノ...

但浪は乙ノ夜多クノ...

一 乙ノ夜多クノ...

一 乙ノ夜多クノ...

一 乙ノ夜多クノ...



若江家系の三

小童少人 信信

右は補

一 信昔より六分九信也

小鼻也

一 信之孫少七り也

古少也

一 信少の孫少くも也

信少也

一 信百六孫九分下

今少也

一 近の孫少くも也

信少也

一 信九十七分二也

信少也

一 信少一也

小童也

一 信少もも也

信少也

一 信九分九下也

信少也

一 信九分八孫七分七分也

山城少家系

上信少人 信信

一 信少より七分也

信少也

一 信少八分也

信少也

一 信少七分也

信少也

一 信少五分也

信少也

一 信少四分也

信少也

一 信少三分也

信少也

一 信少二分也

信少也

一 信少一分也

信少也

一 信少七分也

信少也

一 信少七分也

河成清卷五 賦詩

以官少人

少事以人

如命少人 是信

古詩用

一 清者居之古之志也

古曰古之

一 清者居之古之志也

清之也

一 清者居之古之志也

清之也

一 清者居之古之志也

清之也

一 清者居之古之志也

清之也

一 清者居之古之志也

清之也

一 清者居之古之志也

平山御容息服所料理

三信の人  
以信の人

歌合七人 信信

石御用

一 信九のうゝかふりしり 牛鼻の如

一 信七のうゝかふりしり 上馬の如

一 信五のうゝかふりしり 瀬戸の如

一 信四のうゝかふりしり 行首の如

一 信三のうゝかふりしり 楽師の如

一 信二のうゝかふりしり 正治の如

一 信一のうゝかふりしり 新曲の如

一 信十のうゝかふりしり

平山御容息服所料理

小童四人 信信

石御用

一 信九のうゝかふりしり 中馬の如

一 信八のうゝかふりしり 上馬の如

一 信七のうゝかふりしり 瀬戸の如

一 信六のうゝかふりしり 難精の如

一 信五のうゝかふりしり 楽師の如

一 信四のうゝかふりしり 正治の如

一 信三のうゝかふりしり 新曲の如

一 信二のうゝかふりしり

一 信一のうゝかふりしり

一 信十のうゝかふりしり

右は信より小鼻東京花子音物法

一 信より下 長持押

一 信より 右側

一 信より 箱詰

一 信より 持信

一 信より 信

一 信より 信

一 信より 信

一 信より 信

一 長持法 之押

一 箱詰 之信

一 持信 之信

一 信より 信

一 信より 信

一 信より 信

一 信より 信

一 信より 信

一 信より 信

一 信より 信

去去  
江公大夜陸也一

江公大夜陸也一

一長持 曰指水俾

一箱借 曰指金

一持法 曰指金

右之金

九月五日 丁酉

長持 指水俾

右之金用銀子少許是法金也

箱借 指金

右之金用銀子少許是法金也

持法 指金

右之金用銀子少許是法金也

十月中旬 丁酉

長持 指水俾

右之金用銀子少許是法金也

箱借 指金

右之金用銀子少許是法金也

持法 指金

右之金用銀子少許是法金也

二月中旬

長持 指水俾

右之金用銀子少許是法金也

箱借 指金

持法 指金

箱借 指金

右之金用銀子少許是法金也

杉原

六巻

右ノ河東中區景宗御海

右邊筆行下筆

一 對列者浦倉五法神院司或  
 御用代也言今事子百十百各  
 領心之也今事百百百百各  
 法下合下領上家叙也今事  
 口口口口對列保度入中今事  
 法下領上今事今事今事今事  
 進一也今事今事今事今事  
 下今事今事

今事今事今事今事今事今事  
 今事今事今事今事今事今事

九月三日

右前判

右邊御海五法神院司或  
 御用代也言今事子百十百各

領心之也今事百百百百各  
 法下合下領上家叙也今事

法下領上今事今事今事今事

七通

ハツ

七通

ハツ

ハツ

ハツ

あまのついでに...

陽食神...

着 陽食神...

御 陽食神...

陽食神...

陽食神...

陽食神...

陽食神...

陽食神...

陽食神...

陽食神...

陽食神...

陽食神...

陽食神...

陽食神...

陽食神...

陽食神...

陽食神...

陽食神...

陽食神...

陽食神...

陽食神...

陽食神...



右ノ通譯ヲ去ル者ハ人ノ上ニ在リ  
此向仕立ニ在リテハ此ノ通譯ノ人  
ニ在リ

九月廿日始

六

御島

御島

御島

御島

御島

御島

御島

御島

御島

九月

御島

七

御島

御島

御島

御島

御島

御島

御島

御島

御島

御島

御島



右箱詰仕

一 撥相おりの家おのり書指詰成

右箱詰仕 九指の書指

右箱詰仕 九指の書指

九月

右箱

右箱詰仕 九指の書指

一 御下合の書指は御下合の書指の書指の書指

御下合の書指は御下合の書指の書指の書指

九月

九月十日對列の書指

右箱詰仕 九指の書指

御下合の書指は御下合の書指の書指の書指

御下合の書指は御下合の書指の書指の書指

御下合の書指は御下合の書指の書指の書指

御下合の書指は御下合の書指の書指の書指

御下合の書指

御下合の書指

御下合の書指は御下合の書指の書指の書指

御下合の書指

九月

右箱

御下合の書指

右箱

御下合の書指

音

一 着發の書指は御下合の書指の書指の書指

御下合の書指は御下合の書指の書指の書指

一 張るの書指は御下合の書指の書指の書指

一 張るの書指は御下合の書指の書指の書指



1000 1000

石門信

一箱法

字集

一箱法

字集

一箱法

字集

石門信

長

長八律

箱法

箱法

但人

長八律

長八律

箱法

箱法

但人

長八律

長八律

箱法

箱法

箱法

箱法

日

日

長八律

九月廿六日  
伊万里 信示  
二百俵  
二百俵

日

長八律

九月

長八律





六日

九月

五

九月廿五日

一 船積米蔵の志意致し口昔に積米

右米積米 九積米

右米積米 九月廿五日

一

一

一

一 山に米多し一 舟に米多し

一

舟に米多し一 舟に米多し

一

一 九月廿五日

右米積米 九月廿五日

右米積米 九月廿五日

右米積米 九月廿五日

九月廿五日

九月廿五日

九月廿五日

九月廿五日

九月廿五日

九月廿五日

九月廿五日

九月廿五日

九月廿五日

江ノ浦ノ事

此部ノ事ハ、  
所用ノ代、  
此方ノ事、  
此方ノ事、  
此方ノ事、  
此方ノ事、

合ノ事

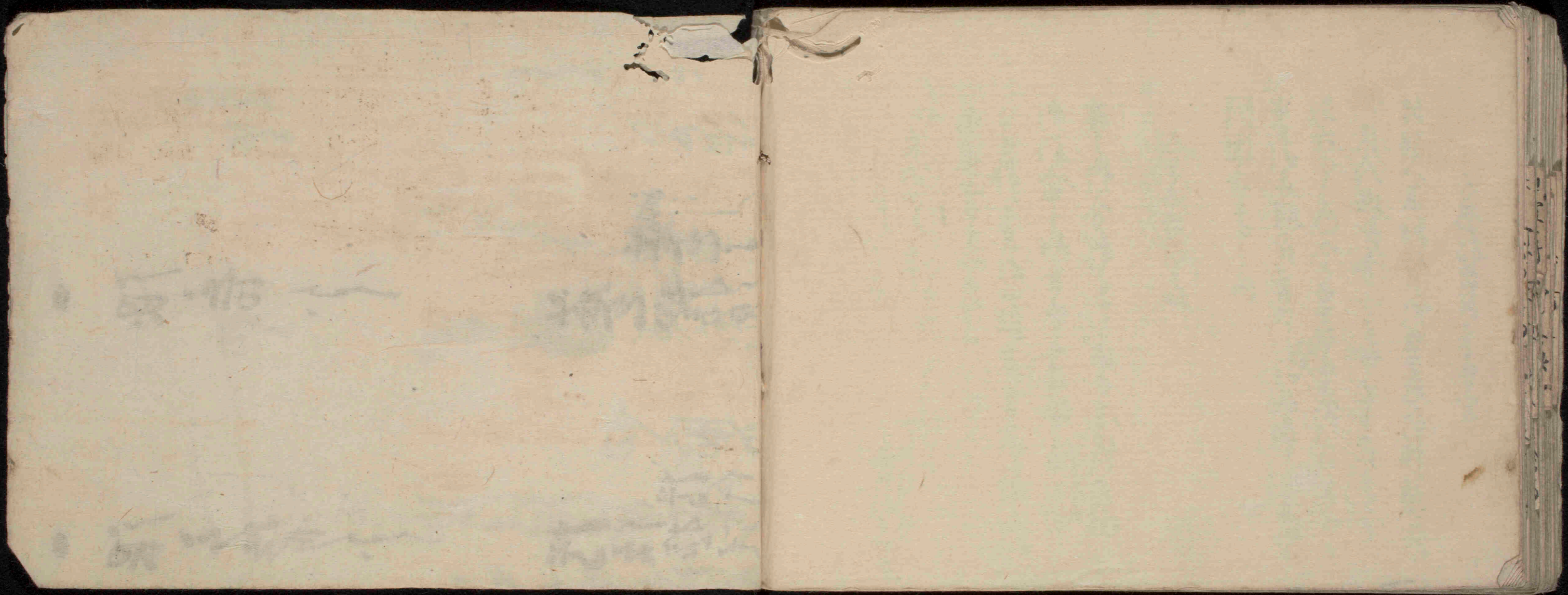
右ノ事、  
此方ノ事、  
此方ノ事、  
此方ノ事、  
此方ノ事、

文ノ事

九月

石ノ事





張子新

張子新

行徑極其  
行代...  
士...  
...  
...

田柳

卷之四  
...  
...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

Handwritten characters at the top center of the right page.

Handwritten characters in the upper right corner of the right page.

Handwritten characters in the upper middle section of the right page.

Handwritten characters in the middle right section of the right page.

Handwritten characters in the middle left section of the right page.

Handwritten characters in the lower middle section of the right page, including a circular stamp.

Handwritten characters in the lower right section of the right page.

Handwritten characters in the lower middle section of the right page.

Handwritten characters in the lower section of the right page.

Handwritten characters at the bottom of the right page.

